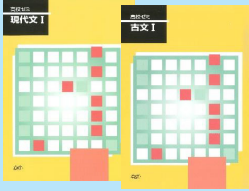


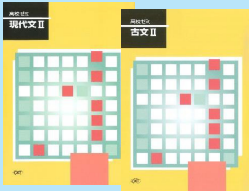









# 進学指導型モデル学習プラン

# 国語(文系・理系共通)

モデルケース:入試に必要な基礎学力を固めながら入試レベルの演習問題をこなしより高い志望校を目指す生徒

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
高1	 <p>現代文Ⅰ・古文Ⅰ</p>				 <p>高ゼミサポート select Ⅱ 国語Ⅰ・古文Ⅰ</p>				 <p>高ゼミサポート select Ⅲ 国語Ⅰ・古文Ⅰ</p>			
	<p>高1は、「高校ゼミ 現代文Ⅰ・古文Ⅰ」を併行して進めていき、夏期講習で「高校ゼミサポート select Ⅱ 国語Ⅰ・古文Ⅰ」の2冊を終わらせます。現代文・古文ともに、反復学習を行うことが重要なので、1回目はノートに書き、2回目は直接テキストに書き込むという使い方をすると効果的です。冬期講習で、「高校ゼミサポート select Ⅲ 国語Ⅰ・古文Ⅰ」を行います。冬期講習を過ぎた1～2月頃までじっくりと時間をかけて進めても構いません。現代文は、一題ごとに、問題文を要約する習慣を付けておくことで、入試に向けて実践的な読解力を伸ばしていくことができるでしょう。</p>											
高2	 <p>現代文Ⅱ・古文Ⅱ</p>				 <p>高ゼミサポート select Ⅱ 国語Ⅱ・古文Ⅱ</p>				 <p>高ゼミサポート select Ⅲ 国語Ⅱ・古文Ⅱ</p>			
	<p>高2は、「高校ゼミ 現代文Ⅱ・古文Ⅱ」を併行して進めていき、夏期講習で「高校ゼミサポート select Ⅱ 国語Ⅱ・古文Ⅱ」の2冊を終わらせます。冬期講習で、「高校ゼミサポート select Ⅲ 国語Ⅱ・古文Ⅱ」を行います。肝心なのは、現代文・古文ともに、学習量よりも学習の質を大切にすることです。例えば、選択肢問題は一つ一つ吟味して、「このような理由で、この問題の正解は○番である」と、理由付けをして問題を解く習慣を付けましょう。古文は単語ノートを作り、新しい単語に出合うたびに単語ノートに記入し、定期的に繰り返し見返して定着させましょう。</p>											
高3	 <p>現代文Ⅲ・古文Ⅲ(文法編)・(読解編)</p>		 <p>高ゼミ漢文・小論文</p>		 <p>高ゼミサポート select Ⅱ 現代文Ⅲ・古文Ⅲ</p>		<p>志望校の過去問題開始</p> 		 <p>高ゼミサポート select Ⅲ 現代文Ⅲ・古文Ⅲ</p>			
	<p>高3は、「高校ゼミ 現代文Ⅲ・古文Ⅲ(文法編)・(読解編)」を併行して進めていき、夏期講習で「高校ゼミサポート select Ⅱ 現代文Ⅲ・古文Ⅲ」の2冊を終わらせます。冬期講習で、「高校ゼミサポート select Ⅲ 現代文Ⅲ・古文Ⅲ」を行います。高3では、志望校に合わせた対策を行います。入試に漢文が必要な生徒は「高校ゼミ 漢文」、小論文が必要な生徒は「高校ゼミ 小論文」を用いて対策を行います。夏頃から過去問を開始し、志望校の出題傾向に慣れていきます。過去問や模試を解いた後は、間違えた箇所をじっくりと吟味して、納得のいくまで理解することで、より学習効果を高めることができます。</p>											

ワンポイントアドバイス

ワンポイントアドバイス

ワンポイントアドバイス